



進路だより

町田市立小山田中学校

2026年1月16日発行

第17号

入試本番スタート！！

2026年が始まり2週間が経ちました。いよいよ本格的に各上級学校への出願や入試が始まります。自分の出願方法、期日、必要書類などを確認してください。不安なことは、保護者の方と募集要項や入試要項を読み、出願忘れなどのないようにしていきましょう。以下の内容は、大まかな出願に必要な事柄を分類したものです。自分がどのパターンなのかを考え、手続きの参考にしてください。

★私立単願・推薦入試を受験する人

- ① 出願に必要な書類を、担任に依頼してありますか？
- ② 出願(主にインターネット)の手続きは済んでいますか？
- ③ 出願に必要な書類を上級学校宛に送ってありますか？
- ④ 受験票のダウンロード(郵送で送られる場合もあります)及びプリントアウトはできていますか？
- ⑤ 受験日、合格発表、手続き締め切り日の確認はしてありますか？また、保護者の方と、合格発表や手続きは、【いつ・誰が・どうやって】行うかの確認は済んでいますか？

★都立推薦入試を受検する人

- ① 受検票の印刷が1月23日(金)頃から可能となります。各ご家庭で印刷をお願いいたします。
- ② 受検日(一般推薦と文化・スポーツ等特別推薦などによって異なる場合があります)、集合時間、持ち物の確認をしてください。
- ③ 2月2日(月)の動き方については、以下の内容を参考にしてください。



★私立併願優遇制度を利用する人

・合格発表当日、2月2日(月)の動き方を保護者の方と確認してください。

→都立推薦入試を受検する人

合格した場合⇒都立高校に入学の手続きを行います。生徒だけで行くのか、保護者の方と一緒に行くのかを決めておいてください。生徒だけで行く場合は、持ち物(印鑑等)忘れの無いようにしてください。

不合格の場合⇒2月2日(月)に私立高校の手続きと、都立高校の手続きを行います(私立高校によっては、2月3日(火)の学校もあります)。私立高校、都立高校の出願をどのように行うかを事前に保護者の方と決めておいてください。特に、私立高校の出願には数万円の振り込みが必要になります。保護者の方と一緒に手続きができるなら、その方が安心ですね。なお、私立入試の手続きは一般的に以下のようない流れになっています。

→都立推薦入試を受検しない人

出願期間が始まったら、速やかに手続きを開始してください。そのために…

- ① 出願に必要な書類を、担任に依頼してください(受験(検)・出願書類確認書に必要事項を記入してください)
- ② 出願(主にインターネット)の手続きを進めてください。分からぬ場合は、担任までお問い合わせください。
- ③ 出願に必要な書類を上級学校宛に送ってください。
- ④ 受験票のダウンロード(郵送で送られる場合もあります)及びプリントアウトをしてください。
- ⑤ 受験日、合格発表、手続き締め切り日時の確認はしてありますか？入学金の延納願いや一部入金が必要な場合があるので、併せて確認をしてください。

★都立一般入試を受検する人

→都立推薦入試を受検する人

2月2日(火)に不合格だった場合は、都立推薦入試と同じ流れで出願を進めていきます。1日で入金までの手続きを行いますので、保護者の方と動きの確認をしてください。

→都立推薦入試を受検しない人

1月9日(金)~28日(水)に出願専用サイト(miraicompas)で出願の手続きをお願いします。

一時保存まで手続きが進んだら、受験(検)・出願書類確認書に必要事項を記入して提出してください。なお、出願校が決まっている場合は、入金の手続きもありますので早い段階で手続きをしてください。

※いずれの場合も、受験会場までの交通経路を複数確認して当日の交通状況に合わせて会場までたどり着けるようにしてください。

★出願全般に関する注意点

【書類を郵送する場合】

(1)配達されたことが証明できる簡易書留で送付！

私立高校が出願用に指定している封筒には、「簡易書留」とかいてあるはず。これは「郵便局の窓口へ行って出願」します。領収書と共に発行される送付記録をもらうため、これは万一の時に取っておくこと。自分で封筒を用意する場合は、郵便局で「簡易書留でお願いします」と申し出ます。

(2)準備は出願日の前日までに完了！

調査書は原則、出願開始日よりも前に渡します。そのため、出願開始日よりも前に、担任に書類の作成を依頼してください。なお、特別な書類が必要な場合は、個別に担任と相談してください。

ポストに入れるだけの郵送の場合でも、自分で料金分の切手を貼ることや書類の漏れが無いかの確認が必要です。書類郵送前日の寝る前には、「あとはもう出すだけ！」の状態にしておこう。間違つても、当日の朝、起きてからやることは避けてください。

【出願後のお願い】

・受験番号…あなたが受験票を忘れた場合など、受験当日、高校からの問い合わせに応じられるよう中学校で控えておきます。受験票が手元に届いたら、担任の先生へ必ず報告してください。

・調査書受領書…高校側は、親展扱いの書類を受け取るわけです。確かに受け取ったという証拠を渡してくれますので、受け取ったら中学校に提出してください。なお、中学校に郵送される場合もあります。

・集合時間＆集合場所…受験票に記載されていることが多いです。確認をお願いします。

・持ち物…受験票や募集要項に記載されています。特に、持ち込んではいけないもの(スマートフォンや通信機能のある時計などが指定されている場合があります)の確認は必ず行ってください。



■「自分を正しく見つめる」ということ

昨年の4月より、先生から「この夏休みが勝負だ」「〇〇月までは内申が決まるから大切だ」など色々と声をかけられ続けてきましたが、いよいよ本番の年を迎えました。その大切な時期を迎えて、「自分は今、なにをなすべきか」をじっくり考え、はっきりした判断を下して、勇敢に立ち向かわなければなりません。人はとかく、自分が頑張ったことはよく覚えているし、自分なりに頑張ったことを評価してほしいという衝動にかられます。それも、「自分が望むごほうび」がほしいと希望するものです。しかし、トータルで見てみると、「ものすごく頑張った自分がいる」ということは、逆に「そこまでは頑張らなかつた自分もいた」ということに他なりません。このことを冷静に受け止め、可もなく不可もなく自分のこれまでの生きざまを見すえて、これからを考えるべきです。これが「自分を正しく見つめる」ということです。

■4月からまた1年生

今はとにかく、自分の決めた(あるいは決めようとしている)進路が現実のものとなるよう、最善を尽くすことが一番です。ここへきていたずらに不安になり、志望校をあれこれ迷い、「なにかうまい手があるのではないか」とふらふらするのは危険です。どうやって決めた学校であっても、結局あなたが4月から通うのはただ1校のみなのです。

今は進路を現実にするための努力に一途になればよい。けれど、新しい年が明けたということは、もう間もなく新たな道を歩んでいかねばならないということです。受験のためにさえ頑張っていれば良かったこれまでとはまた別の努力が必要になる。志望校が決まるということは、その志望校での生活に目線を投じることです。

あなたは「受験」というシステムそのものに踊らされてはいませんか？あなたが進もうとしている道は、あなたにとって有益ですか？どんな学校へ進んでも、そこで輝くことができるかどうかが重要なのです。

■あたりまえのことをあたりまえにやる

当然のことですが、受験をするためにはこなさなければならないことがたくさんあります。自動的に受験ができるようになるわけではありません。その一つ一つを着実にこなして初めて受験当日を迎えることができるわけです。

実はこのことは、日常の行動と深く連動しています。「遅刻をしない」「時間を見て自分で動く」「日直や係り活動をきっちりやる」「提出物を期限に仕上げて出す」こういったことが日頃からできている人は、受験に関する事務でも、自ら計画性を持ってきちんと一つ一つこなせるものです。この時期、これらのことと自分の責任において行えるようにしていくことこそ、「最後の階段を登っている」と言えましょう。

こういう「あたりまえのことをあたりまえにやる」ということ、それが精神を安定させ、本番に実力を発揮できる基礎を構築していきます。

火のないところに煙は立たずといいます。一つの結果が出る背景には、必ず原因があります。今からの時期は生活のリズムを一定に整え、ごくあたりまえとも思える生活の流れを崩さないことが大切。それが崩れることは失敗につながります。ここまでできたら、あせる必要はないのです。

出願全般の確認を再度行うこと

■始まる前の計画がとても大切です

個人の計画をきちんと立てること。

「出願」「試験」「発表」だけでなく、「いつ出願するのか」「出願方法は？」「振り込みはいつするか」なども必要。

また、「自分が他校を受験している間に保護者が合格発表を見に行ってもらう」などきわどい日程の

受験を予定している人もいるはずです。いったん受験が始まってしまうと、あとはどーっと流れしていくだけです。始まる前の計画がとても大切です。

【高校へ出向いて出願する場合】

自分で用意するもの	中学から渡されるもの
<p>■願書一式 *必要事項に記入漏れがないか必ず確認 *印漏れは特に注意！ *受験料の振り込み領収書の添付 またはそれに代わる様式</p> <p>郵送の場合と同じく、この場合も、出願の準備は前日までに終わらせておくこと</p>	<p>■調査書 ■推薦書 ■その他 *<u>出願当日の朝までに、担任の先生が、生徒本人に渡します。(原則的に前日渡し)</u> 注意:それまでに担任に用紙が渡っていることが必要です。すぐには書けません。</p>

【高校へ出向く場合の注意点】

①服装や言動に注意！

受験と同様、全て見られています。また他の中学生も来ているので、服装、言葉づかい、行動など、全てが比べられています。高校によっては、最寄駅から先生が立っています。「校門の前で直せばいいや」なんてことでは、絶対失敗します。

②おつきあい出願などもってのほか！

「ねえねえ、わたし一人しかいないから、一緒にについてきて。あなたの時もついてってあげるから」……などなど……相手の高校に対して失礼です。出願は遊びではない。自分の責任において、間違いなく自分が行いましょう。受験番号が近くなれば、面接の時など同じグループになったりして直接比較されることになります。真の協力とは何か、考えましょう。

③まっすぐ出願し、まっすぐ学校に報告に来る！

「いやあ、めっちゃ早く済んだんで、家帰ってました～」「めし食ってましたー」

…………あの、頼みますからやめてください。出願は高校受験の最初の門をたたくこと。先生たち 皆があなたの無事を祈っています。遅くなれば、「なにかあったのではないか」と心配になります。また報告を終えてからも授業があります。まっすぐ学校に報告に来てください。

④持ち物注意！

交通費などは常識にお任せします。受験日と異なり万一のタクシーチケットなど必要ないのですから、必要最低限のお金にとどめましょう。受験生のこういう時を狙っている不埒な輩もいます。

見落としがちなのは、願書に不備があった場合の持ち物です。“黒ボールペン”と“願書に押した印鑑”を持参します。ただし、印鑑を生徒が持参する場合、おうちの方とよく相談しましょう。なくしたら大変！

